

インタビュー

シャツメーカーのヒト
ヨシは今期(11年1~12月)、熊本県人吉市の直営熊本本社工場とベトナム・ホーチミン市の協力工場などを合わせ生産数量が前年比25%増の見通しだ。

◇

――業績が好調だ。

スーパーグループヒズ効果などで7月まで40%増と伸び、秋物生産も予定通りです。当社の売りの上



ヒトヨシ社長 吉國 武さん

■ 攻撃力ある売り場直結の工場へ

の98~99%はOEM(相手先ブランドによる生産)です。

百貨店アパレル向けは都心型百貨店は好調ですが、全体的には苦戦。専門店向けは中高級都心型が伸び、特に高級セレクトショップ向けが予定以上に伸びています。専門店はレスポンスが早いのが特徴です。6年前から縫製の研究をおこなってきたシャツ仕立てのカットソーの伸び率も高く、プラスになりました。本社工場は海外有力ブランドの認定工場となり、来期(12年1~12月)から同ブランドのビスポロも生産します。

当社は「攻撃力ある売り場直結の工場」を目指しており、今秋全面改装

阪急メンズ・トーキョーで成功

した阪急メンズ・トーキョーで成功事例が生まれました。成功事例を来期増やします。

――来期の事業計画は。

生産数量は前期比40%増の見通しです。立ち上げ時に74人、現在110人の本社工場従業員も来年上期に130人に増員します。高級セレクトショップ向けに伸びているレディースのシャツ、カットソー、ワンピースも拡充し、将来レディース比率を5%に高めます。

――環境対応も進める。

太陽光パネルによる自家発電も来年3月から本社工場でスタートさせます。シャツアパレル工場として初の採用で、最終的に全ての電力を太陽光パネルシステムでまかなう予定です。